

不 確 実 な 未 来 を 切 り 開 く

幸
せ
つ
て
な
ん
だ
ら
う

STEF OF WELL-BEING

多 様 化 す る 価 値 観 に つ い て 考 え る

多様化する価値観が蔓延する現代社会において、経済的価値が社会を動かす大きな力になるとは言えない状況が訪れています。このような社会状況下において、我々はどうなれば幸せと感じられるのでしょうか。近年、WELL-BEINGという言葉をよく目にするようになりましたが、おそらく幸せってなんだろうと感じる人が増えてきた結果なのではないかと感じています。そこで、WELL-BEING な社会構築に繋がっていそうだと感じる実践事例や考え方に触れる機会を通じて、新たな社会を構築していく価値観や方法について考える機会を設けたいと思います。不確実な未来を切り開いていくアントレプレナーシップのマインドをWELL-BEING という視点から考えてみましょう。

ホスト：友渕貴之、宮崎義久、齊藤祐輔、中沢峻

第一回 11月7日（金）12:50-14:20 会場：宮城大学大和キャンパス 403 講義室

「キャリアの余白から考える私の生活」

《ゲスト》
キャリアブレイク研究所
代表理事

北野 貴大 さん



一般社団法人キャリアブレイク研究所 代表。大阪公立大学大学院 経営学研究科 特別研究員。大阪市立大学大学院で修士課程（建築学）を修了し、新卒でJR西日本グループに入社。「ルクア大阪」をはじめとするデパートプロデューサーとして従事。その後、2022年に退職し、人生と社会を俯瞰し見つめ直す欧州文化「キャリアブレイク」をテーマに一般社団法人を設立。調査研究を通して、キャリアブレイクのポータルサイトの運営、企業や自治体など働き方改革や働くリズムのアップデート支援を行う。著書に『仕事のモヤモヤに効くキャリアブレイクという選択肢』（KADOKAWA）、『キャリアブレイク 一手放すことはブランクではないー』（千倉書房）。
X：https://x.com/kitanothiro、HP：https://careerbreak-lab.com/

第二回 12月4日（木）10:40-12:10 会場：宮城大学大和キャンパス 大講義室

「自然を通じて得る生きる力」

《ゲスト》
くりこま高原自然学校 代表
青森大学総合経営学部 教授
観光文化研究センター センター長

佐々木 豊志 さん



1957年岩手県生まれ。筑波大学体育専門学群卒業後、日本テレビサービスを経て、1996年に「くりこま高原自然学校」を設立。自然体験や地域資源を活かした教育・観光・防災の実践に取り組む。宮城大学大学院事業構想学研究科で修士号・博士号を取得し、同大学でも教育・研究に携わった。現在は青森大学教授として、野外教育・冒険教育・環境教育・事業構想学をテーマに活動を続けている。

第三回 12月18日（木）14:30-17:30 会場：宮城大学大和キャンパス グループ演習室

「利用と循環がもたらす地域の豊かさ」



《ゲスト》
amu 株式会社代表取締役 CEO
加藤 広大 さん

二松学舎大学文学部在学中、(株)Gaiaxにて「TABICA」立ち上げを経験。大学中退後、当時最年少で(株)サイバーエージェントに入社。AbemaTVの番組プロデューサーを担いTwitter世界トレンド1位3回、チャンネル優秀賞獲得。2019年宮城県気仙沼に移住後、廃漁網アップサイクルに興味をもち事業検証を行う。2023年5月amu(株)設立。



《ゲスト》
東北芸術工科大学
加藤 優一 さん

建築家。東北芸術工科大学専任講師、(株)銭湯ぐらし代表取締役、(一社)最上のぐらし舎共同代表理事、(一社)空き家相談・活用支援協議会アドバイザー、(株)BTアドバイザー。1987年山形県生まれ。東北大学博士課程満期退学。デザイン&マネジメントをテーマに、建築の企画・設計・運営・研究に携わる。銭湯と連携したシェアスペース「小杉湯となり」「銭湯つきアパート」の経営や、学生と連携した「やまがた空き家プロジェクト」などを展開中。主な設計に「佐賀場内エリアリノベーション」「旧富士小学校の再生」、主な著書に『CREATIVE LOCAL』『公共R不動産のプロジェクトスタディ』『多拠点で働く』『銭湯から広げるまちづくり』など。

お申し込みはこちら

学生・社会人問わず、どなたでもご参加いただけます
右記QRコードよりお申し込みください

